



岩 切

# 社協だより

第 23 号 令和 2 年 9 月 1 日

発行：岩切地区社会福祉協議会

手をつなぎ 安心して暮らせる 福祉の街づくり



福祉委員交流会 ～心ひとつに 手巻き寿司づくり～



岩切地区社会福祉協議会  
会長 伊藤久雄

日頃より岩切の皆様には社会福祉活動に対してご理解とご支援を賜り厚く感謝申し上げます。

昨年12月頃から新型コロナウイルスの目に見えない猛威にさらされている世界、そして日本です。

その様な衛生環境の危機の中で、今日の社会福祉協議会活動をはじめ、すべての活動に国民の生命を守る為に自粛や制限が掛けられています。今後の事業計画である「豊齢ご夫婦の集い」も中止になります。

特に社会福祉協議会活動の重点目標である「安否確認・日常生活支援・サロン」の各活動も三密を避けなが

らの活動にならざるを得ません。また、緊急事態宣言解除後の最近の状況では、若者の罹患者が増え続けている実情も今後の活動に不安を与えています。特に高齢者には新型コロナウィルスは脅威です。お互いが「健康意識の変革」と「新しい生活様式」を確立して誰もが罹患しない環境を創造して危機を脱していかなければならないと思います。

社会福祉協議会の活動は多岐に渡りますけれど、限りある人員の中で「地震や豪雨」等の自然災害による避難活動や安否確認活動にも範囲を拡げなければならぬと考えます。

その安心な街づくりには、同じ目的を持つ地域の各種団体と連携を密にしながら岩切地区社会福祉協議会の活動を実施してまいります。

今後とも地域の皆様にはご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 令和元年度の事業をふり返って

### 福祉事業活動

#### ・地域ふれあい福祉懇談会

6月26日（水）岩切東コミュニティセンター岩切町内にお住いの65歳以上の「お一人暮らしの方とお身体のご不自由な方」をお招きしました。

演芸は菖蒲沢「朋友（ほうゆう）」佐藤啓悦氏ほか4名の方に民謡と地元の懐かしい歌「岩切物語」を歌ってもらい、そのあと会場の皆さんと一緒に歌いました。あつみきよと氏には迫力のある演歌と皆さん興味のある健康講話をしてもらいました。

演芸と食事会で楽しいひと時を過ごして頂きました。

（出席者 120 名）



#### ・豊齢ご夫婦の集い

10月23日（水）岩切東コミュニティセンター75歳以上のお二人住まいのご夫婦（どちらかが75歳なら可）をお招きしました。始めに郷土の歌「岩切物語」を紹介し、会場の皆さんと一緒に歌いました。

演芸はストロングスタイルのユニークな漫才、プロ歌手小田島あつみさんの伸びのある声での民謡と演歌で、お楽しみ頂きました。会場は大きな拍手で盛り上がりしました。

（出席者 176 名）



### 小地域福祉ネットワーク活動

福祉委員の皆さんが、町内の高齢者や障がいをお持ちの方が安心して暮らせるように、次のような活動をしました。

| 安否確認活動              | 日常生活支援活動              | サロン活動                     |
|---------------------|-----------------------|---------------------------|
| 日頃から気かけ、声がけや訪問などを行う | 軽微な家事や困りごとを出来る範囲で支援する | 町内会の集会所などを会場に、楽しい仲間づくりを行う |

※ 令和元年度より、2年間、仙台市社会福祉協議会から、「地域とCSW（コミュニティソーシャルワーカー）の協働による課題解決推進地区」の対象地区となりました。

この事業は地区社会福祉協議会にて把握した地域課題について、その解決へ向けた試みを仙台市社会福祉協議会宮城野区事務所のCSWと協働により進めていくものです。

岩切地区社会福祉協議会では、岩切地区民生委員児童委員協議会との連携の意識を高めることを目的に、合同の研修会を2回、福祉委員間のコミュニケーションを高めることを目的に、福祉委員交流会を3回企画実施いたしました。



5/15 情報共有について



9/18 ハンドマッサージ体験



10/16 地域福祉とは



12/4 お掃除のコツ

## ・研修会レポート 令和元年10月16日「お坊さんの考える地域福祉とは」

仏教は、遠い昔より福祉思想の大元とも言える活動や考えがあったのではないかと、良い地域を作るにはどう考えればよいかという点について、定義如来西方寺住職・大江田紘義氏をお招きし、活動事例を踏まえながら、お話をいただきました。

各々がこうありたいと念願を持ち、ご縁を大切に目の前にいる人に優しく接するよう心がけましょと説法をいただき、そのような心の豊かさを育むための日々の精進と福祉の原点を学びました。

**感想** ○笑顔で会話が出来、心の豊かさを持って活動するお話しに感動しました。

○思いやりを忘れずに継続する事が大切ですね。



## ・協賛行事事業

- 市、区等の社協主催行事へ積極的に参加しました。
- 「町内会連合会主催行事」や「社明運動」「地区コミュニティまつり」等へ参加することで地域社会との連携を深めてきました。

## ・団体支援・助成：以下の団体に支援、助成しました。

- 単体（2団体）◎岩切地区社明実施委員会 ◎岩切学区青少年健全育成協議会
- 児童サークル（3団体）◎おひさまくらぶ ◎ちびっこクラブ ◎くれよん広場
- 介護予防運動自主グループ（6団体）◎畑中南 楽・ら・らくらぶ ◎ひまわりクラブ（今市下区）◎おりづる会（台ヶ原）◎円 遊々（余目）◎山崎いきいきクラブ ◎鶴ヶ谷東元気の会（岩切三丁目）

### 「おりづる会」（台ヶ原地区）の紹介



2009年に誕生したおりづる会も早12年目を迎えました。

サポーターの進行で誤嚥予防、お口の体操、早口言葉や懐かしい童謡・四季の歌2曲、認知症予防の脳トレ、転倒予防自分の足でいつまでも歩けるようストレッチ、杜の都のおトク体操など元気いっぱいの運動です。

休憩タイムには輪になりヨーグルトを食べ、60歳からの情報誌“みやぎシルバーネット”を見ながら日常の情報交換（オレオレ詐欺など）月のお誕生日の方にお花の鉢植プレゼント、又、お花見、クリスマスの催しなどで楽しい交流があります。会員32名、毎月第2金曜日、台ヶ原集会所で行っています。

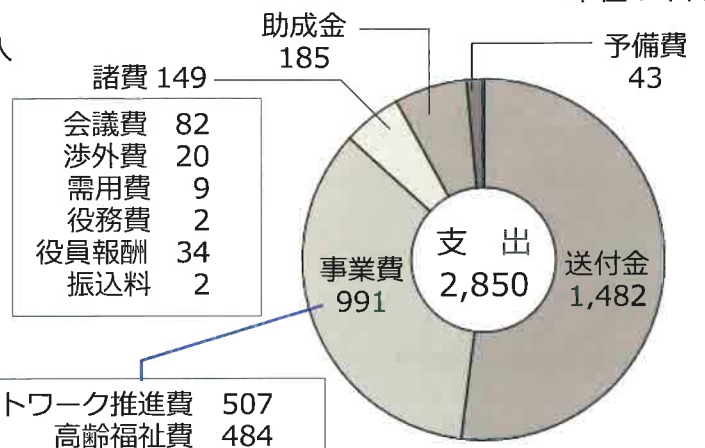
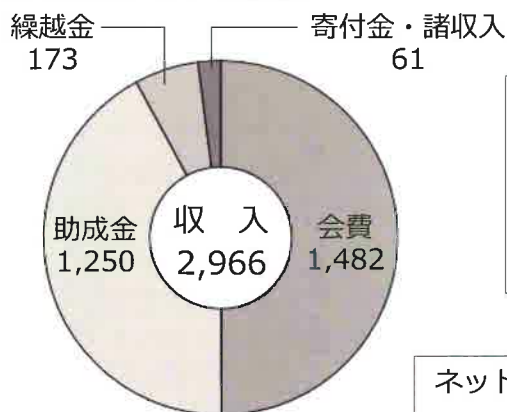
**会員さんの声** ○皆さんにお会い出来る嬉しさ ○体操の出来る楽しさが元気の“源”・・・

## 広報活動

岩切地区社会福祉協議会の機関誌「岩切社協だより」第22号を発行し、岩切地区全世帯に配布しました。

## 令和元年度の収支決算

単位：千円



収入：2,965,829円 支出：2,849,612円 残：116,217円（次年度へ繰越）



## 岩切地区共同募金会 ～ご協力ありがとうございました～

岩切地区各町内会募金総額 905,961 円（令和元年 12 月）区共同募金会へ納入  
皆様からの募金は、災害被災世帯への災害見舞金のお届けや、住みよい地域づくり支援活動、子育て支援事業などあらゆる福祉事業に役立てられています。

### ご退任された方々

#### 役 員

鎌田正二 様 ・ 門間榮一 様 ・ 角田美佐子 様

#### 福祉委員

赤木 友子 様 （ ） ・ 在任期間 17 年）

伊藤 洋子 様 （ ） ・ 在任期間 14 年）

松谷千工子 様 （ ） ・ 在任期間 12 年）

伏見きみ子 様 （ ） ・ 在任期間 10 年）

※ 在任期間 10 年以上の方



～永きにわたり福祉活動にご尽力  
いただき、ありがとうございました

### 岩切児童館・夏休み子ども食堂オープン

令和元年 8 月 5 日今市中区公民館にて（一日限定）



## 令和2年度の事業

岩切地区内の各種団体と連携しながら、安心・安全で明るく住みよい地域づくりに努めてまいります。

- ① 小地域福祉ネットワーク活動の推進
- ② 福祉事業（地域ふれあい福祉懇談会・豊齢ご夫婦の集い・子ども食堂）の開催  
※いずれも新型コロナの影響により中止となりました。
- ③ 災害時要援護者支援体制や防犯・防災対策の充実
- ④ 研修会・広報活動の充実
- ⑤ 団体支援・助成
- ⑥ 協賛行事への参加
- ⑦ 他団体とのイベント共催

### 令和2年度の役員体制

|                    |           |
|--------------------|-----------|
| 会 長                | 伊 藤 久 雄   |
| 副 会 長（ 総 務 担 当 ）   | 渡 辺 敏 之   |
| 副 会 長（ 庶 務 担 当 ）   | 鈴 木 健 治   |
| 理 事（ 共 募 会 長 ）     | 大 里 伸 治   |
| 理 事（ 会 計 ・ 共 募 副 ） | 佐 々 昂     |
| 理 事（地域福祉活動推進員）     | 齊 藤 久 美 子 |
| 理 事                | 相 模 依 子   |
| 理 事                | 伊 藤 啓 子   |
| 監 事                | 井 上 恒 男   |
| 監 事                | 北 原 惣 年   |

### 令和2年度の会費内訳

| 町 内 会 名 | 世帯数   | 会 費       |
|---------|-------|-----------|
| 洞 ノ 口   | 830   | 249,000   |
| 若 宮     | 580   | 174,000   |
| 入 山     | 130   | 39,000    |
| 台 ケ 原   | 305   | 91,500    |
| 大 橋     | 100   | 30,000    |
| 畑 中 北   | 180   | 54,000    |
| 畑 中 南   | 260   | 78,000    |
| 今 市 下 区 | 550   | 165,000   |
| 今 市 中 区 | 190   | 57,000    |
| 今 市 上 区 | 160   | 48,000    |
| 余 目     | 440   | 132,000   |
| 山 崎     | 310   | 93,000    |
| 岩切三丁目   | 230   | 69,000    |
| 県営自治会   | 60    | 18,000    |
| 分 台     | 351   | 105,300   |
| 町内会合計   | 4,676 | 1,402,800 |
| 特別会員    | 60名   | 60,000    |
| 合 計     |       | 1,462,800 |

### 編集後記

今年は新型コロナの影響で、例年より一カ月遅れの「岩切社協だより」の発行となりました。今年は、原稿作成・編集・印刷まですべて編集委員の手で作りました。慣れない中、何度も修正を繰り返しながらも、無事に発行することができました。是非たくさんの皆様に読んでいただきたいと思います。寄稿してくださった方々に深く感謝申し上げますとともに、今後とも岩切地区社会福祉協議会をよろしく願いいたします。

編 集 委 員 渡辺 敏之・鈴木 健治・大里 伸治・佐々 昂  
齊藤 久美子・相模 依子・伊藤 啓子